

使徒継承

アンティオキアにおける聖ペテロから、アンティオキアおよびモスクワの総主教庁を経て、現在に至る

この継承の系譜に連なる

主教*

Garland F. Byers, Jr., J.D., D.D.‡

諸国民への主教、使徒的委任のもとに

1. 聖ペテロ、使徒、殉教者 CO

紀元30年頃キリストに召された。アンティオキアの初代主教

聖書に名が記されている：「汝はペテロなり、我この磐の上に我が教會を建てん」(マタイ伝福音書16:18)。アンティオキアにて（ガラテヤ人への書2:11）

この使徒継承の系譜は、紀元30年頃の使徒ペテロから今日にまで及び、2026年現在で1,996年にわたる。

聖ペテロからアンティオキア総主教Gregory IVに至る継承は、アンティオキア・ギリシャ正教会総主教庁が保持するアンティオキア総主教の名簿に従っている。これは、アンティオキア正教会が自らの使徒継承を、アンティオキアの初代主教聖ペテロにまでたどる、その同じ名簿である。

主教職への聖別は、以下に名を挙げる諸教会を通じて、一人から次の一人へと行われた。

この系譜の主教の中には、聖人としても崇敬されている者がいる。その名の傍らの印は、生涯の聖性のみにかかわる。それはいかなる聖別の有効性にもかかわらない。聖人として崇敬されているか否かにかかわらず、表に挙げたすべての主教は、継承において等しくその位置を占めている。

聖 聖人：英雄的な聖性の生涯を送り、今は神のもとにある者として教会が公に崇敬し、その記憶を暦において記念する人。初代教会では、聖人は信徒とその主教たちの称賛によって認められた。のちには、ローマ・カトリック教会では正式な列聖によって、正教会では列聖（glorification）によって認められるようになった。

福者 福者：ローマ・カトリック教会において、列福された人。列福は聖人としての列聖に先立つ正式な段階である。

C ローマ・カトリック教会により聖人または福者として崇敬されている。

O 正教会により聖人として崇敬されている。

CO ローマ・カトリック教会と正教会の双方で聖人として崇敬されている。

赤 殉教者：信仰のために命をささげた者。

誰が聖人であるかについて、諸教会の見解は常に一致するわけではない。ある教会が、他の教会が崇敬しない人を崇敬することもあり、印はそれぞれの聖人をどの教会が崇敬しているかを示している。

アンティオキア

「弟子たちのキリステアンと稱へらるる事はアンテオケより始れり」（使徒行伝11:26）とあるアンティオキアの主教座。聖ペテロがローマに赴く前に創設した。聖ペテロの後を継いだ聖エウオディオスからCyril Vに至るアンティオキアの主教および総主教たち。アンティオキアの教会が保持する名簿による。

2. 聖エウオディオス CO 53
3. 聖イグナティオス CO 殉教者 68
4. Heron I 100
5. Cornelius 127
6. Heron II 151
7. 聖 Theophilus CO 169
8. Maximus I 188
9. 聖 Serapion CO 191
10. 聖 Asclepiades CO 212
11. Philetus 218
12. Zebinus 232
13. 聖 Babylas CO 殉教者 240
14. Fabius 253
15. Demetrian 256
16. Amphilochius 263
17. サモサタの Paul 267
18. Domnus I 270
19. Timaeus 273
20. Cyril 277
21. Tyrannion 299
22. Vitalius 308
23. 聖 Philogonius CO 314
24. Paulinus 324
25. 聖 Eustathius CO 325

26. Eulalius 332
27. Euphronius 333
28. Flacillus 334
29. Stephen I 341
30. Leontius 345
31. Eudoxius 350
32. 聖 Meletius CO 354
33. Anianus 357
34. Euzoius 360
35. Dorotheus 370
36. Paulinus II 371
37. Vitalius II 376
38. 聖 Flavian I CO 384
39. Porphyrius 404
40. Alexander 408
41. Theodotus 418
42. John I 427
43. Domnus II 443
44. Maximus II 450
45. Basil 459
46. Acacius 459
47. Martyrius 461
48. 縮絨工 Peter 465
49. Julian 466
50. John II 475
51. Stephen II 490
52. Stephen III 493
53. Calandion 495
54. John Codonatus 495
55. Palladius 497
56. Flavian II 505
57. Severus 513
58. Paul II 518
59. Euphrasius 521
60. 聖 Ephraim O 526
61. Domnus III 546
62. シナイの聖 Anastasius I CO 561
63. 聖 Gregory CO 571
64. 聖 Anastasius II CO 殉教者 599
65. Gregory II 610
66. Anastasius III 620
67. Macedonius 628
68. George I 640
69. Macarius 656
70. Theophanes 681
71. Sebastian 687
72. George II 690
73. Alexander II 695
74. Stephen IV 742
75. Theophylact 748
76. Theodore 767
77. John IV 797
78. Job 810
79. Nicholas 826
80. Simeon 834
81. Elias 840

82. Theodosius 852
83. Nicholas II 860
84. Michael 879
85. Zacharias 890
86. George III 902
87. Job II 917
88. Eustratius 939
89. Christopher 960
90. Theodore II 966
91. Agapius 977
92. John V 995
93. Nicholas III 1000
94. Elias II 1003
95. George Lascaris 1010
96. 有德者 Macarius 1015
97. Eleutherius 1023
98. Peter III 1028
99. John VI 1051
100. Aemilian 1062
101. Theodosius II 1075
102. Nicephorus 1084
103. John VII 1090
104. John IX 1155
105. Euthymius 1159
106. Macarius II 1164
107. Athanasius 1166
108. Theodosius III 1180
109. Elias III 1182
110. Christopher II 1184
111. Theodore IV (Balsamon) 1185
112. Joachim 1199
113. Dorotheus 1219
114. Simeon II 1245
115. Euthymius II 1268
116. Theodosius IV 1269
117. Theodosius V 1276
118. Arsenius 1285
119. Dionysius 1293
120. Mark 1308
121. Ignatius II 1342
122. Pachomius 1386
123. Nilus 1393
124. Michael III 1401
125. Pachomius II 1410
126. Joachim II 1411
127. Mark III 1426
128. Dorotheus II 1436
129. Michael IV 1454
130. Mark IV 1476
131. Joachim III 1476
132. Gregory III 1483
133. Dorotheus III 1497
134. Michael V 1523
135. Dorotheus IV 1541
136. Joachim IV 1543
137. Michael VI 1577

138. Joachim V 1581
139. Joachim VI 1593
140. Dorotheus V 1604
141. Athanasius III (Dabbas) 1611
142. Ignatius III (Attiyah) 1619
143. Euthymius III 1635
144. Euthymius IV 1636
145. Macarius III (Zaim) 1648
146. Neophytos I 1674
147. Athanasius IV (Dabbas) 1686
148. Cyril V (Zaim) 1694

正教会総主教庁

1724年以降のアンティオキア・ギリシャ正教会総主教たち。SylvesterからGregory IVに至る。Gregory IVは1913年、ロシア訪問中に、ノヴゴロドの聖ソフィア大聖堂でAlexy (Simansky)を主教に聖別した。

149. Sylvester 1724
150. Philemon 1766
151. Daniel 1767
152. Euthymius 1792
153. Seraphim 1813
154. Methodius 1823
155. Hierotheos 1850
156. Gerasimos 1885
157. Spyridon 1892
158. Meletius II (Doumani) 1899
159. Gregory IV (Haddad) 1906

モスクワとアメリカ合衆国

後のモスクワおよび全ロシアの総主教 Alexy から、各主教はその前に掲げた主教によって聖別された。

160. Alexy (Simansky)、後のモスクワ総主教 Alexy I 1913
161. John (Wendland) 1958
162. Joseph John Skureth 1966
163. Nils Bertil Alexander Persson 1989
164. Samuel Guido, Jr. 2004

165.

Garland F. Byers, Jr.

2013

モスクワ総主教と共有する継承

現在のモスクワおよび全ロシアの総主教であるキリル（Kirill）総主教とバイヤーズ主教は、アンティオキアにおける聖ペテロから、モスクワ総主教Alexy I（1913年、アンティオキア総主教Gregory IVにより主教に聖別。1945–1970年モスクワ総主

> 教）に至るまで、同じ使徒継承の系譜を共有している。Alexy I総主教は、両系譜の源となる主教たちを自らの手で聖別した。すなわち、キリル総主教の系譜では府主教Nikodim (Rotov)を1960年に、バイヤーズ主教の系譜では府主教John (Wendland)を1958年に聖別した。

聖職

按手

2008年8月17日、按手により。ペンシルベニア州パーマートンのSt. Paul's Lutheran Orthodox Chapelにて。

主教聖別

2013年4月20日、聖餐の執行の中で按手により。St. Paul's Lutheran Orthodox Chapel（この日はペンシルベニア州スラティントンのAmerican Legion Post 16で集会）にて。

主聖別者

主教 Samuel Guido, Jr.

共同聖別者

Bradley A. Varvil 主教

Michael Byus 主教

James Thompson 主教

按手および主教聖別の証書は、主教聖別の写真とともに、主教についてのページに掲載されている。

奉仕

2013年4月20日、Lutheran Orthodox Church, Inc. において主教聖別を受け、その後同団体において Western North Carolina 教区の大主教を務めた。バイヤーズ主教は現在、同団体に所属していない。

名誉神学博士（honoris causa）、Lutheran Orthodox Church, Inc. より授与、2013年4月20日。



本ページの日本語の聖句は、すべて文語訳聖書（旧約：明治元訳、1887年／新約：大正改訳、1917年、日本聖書協会）から引用しています。いずれもパブリックドメインです。本文：ウィキソース。聖句は抜粋して引用しており、省略箇所は「……」で示しています。

使徒ペテロ。ノヴゴロド、聖ソフィア大聖堂の聖ペテロと聖パウロのイコン（1050年頃、現在はノヴゴロド博物館所蔵）より。出典：Wikimedia Commons、パブリックドメイン。原画からトリミングおよびサイズ変更を施した。